

7 たんぽぽ学級の取組

(1) 実践内容 「自然となかよし」

年間を通し、校庭の植物の観察を続けたり、生き物と触れ合ったりして、五感を使って季節や季節の移り変わりを感じさせたい。また、活動する中で人との触れあいも大切にしていきたいと考え、実施してきた。

①「春とあそぼう」

・校庭の観察

4月5月には、春の草花の観察をし、草花遊びを行った。

学級の畑のジャガイモの観察をしたり、草抜きや水やりなどの世話をしたりした。

・草花遊び

四つ葉のクローバーをさがしてしおりを作ったり、クローバーの花の首飾りや冠を作ったり、カラスノエンドウの笛やオオバコのすもうを楽しんだりした。

秋に実るであろうぎんなんや柿の実の青い物も写真に納め、継続観察をして比べる材料にしようと考えた。

・こいのぼり

4月後半から当番を決め、国旗掲揚塔にこいのぼりを揚げた。

②「夏をかんじよう」

・校庭の観察

校庭の青々とした木々を見て回った。

実り始めた青い実を見てもぎんなんや柿を思い浮かべる児童は少なかった。

・いもほり

じゃがいもの葉が枯れてきた頃、みんなでいもほりをした。茎を引っぱると付いてくるじゃがいもを見てまず歓声上がる。とれたじゃがいもは、蒸して早速味見をしてみた。何もつけなくてもほくほくしておいしい。おかわりをして食べる子もいた。

また、5年生のキャンプ前のカレー実習にも使い、みんなで味わった。

・アサガオ・トマト・ハウセンカの観察

1・2・3年生がそれぞれ育てている植物も季節を感じる良い材料となった。ミニトマトは収穫もでき、他学年の児童も味わわせてもらった。

・梅の収穫

ビオガーデンにある2本の梅の木に実がたくさんなっているのを見つけ、収穫した。

採れた梅は二つに分け、一つは梅ジュースに、もう一つは梅干しにした。梅ジュースはいつできるかと楽しみにしていた。

・七夕まつり

七夕に向け、短冊に願い事を書いたり、飾りを作ったりした。七夕会では、夏の味覚スイカを味わった。初め「スイカは嫌い」と言っていた児童も皆と一緒に食べる事ができた。できあがった梅ジュースも味わった。

③「秋をあじわおう」

・柿の収穫

毎年、柿の収穫を楽しみにしていたが、この年は実が少なく、熟すのを待ってから食べようと話をしていた。ところが数日後、柿の木には何もついてなくて児童はがっかり。例年あることだが、カラスに食べられてしまった。翌年に向けて対策を取る必要がある。

・ぎんなんの収穫

児童みんなでビニルの手袋をして、ぎんなん拾いをした。

大きいイチョウの木に実がなった。においが強いので嫌がる児童には「銀羊苑にプレゼントしに行くよ」と声をかけ、無理をさせないように少し拾ったらよいことにした。しっかり



【収穫した梅】



【梅ジュース】

洗って干したぎんなんをみんなで袋詰めした。そして、電子レンジで加熱したぎんなんをみんなで味わった。苦手な児童もいたが、もっとほしいという児童もいた。給食にも出ていることを知らない児童もいた。

・銀羊苑訪問

銀羊苑でなるこ踊りを見てもらうために運動会終了後練習を始めた。当日、デイサービスの利用者にもなるこを配り、一緒に鳴らしてもらった。児童は、衣装を着て一生懸命踊った。終わった後、お礼に歌を歌ってもらったり、握手をしたりして、満足げであった。

・さつまいもの収穫

夏に日照りが続き、収穫がどうなるか心配をしていた。つるが少
ないのが心配で秋植えのじゃがいもも植えておいた。

みんなで畑に集まり、いもほりをした。つるが少なく引っ張って
ついてきたさつまいもは、一つもなかった。じゃがいもは、収穫が
できた。量が少ないので、いただいたさつまいもと合わせ、みそ汁
にすることにした。



【梅干しでおにぎり】

・総合学習発表会

6年生は事前にプログラムやレシピを模造紙に書いたり、司会の
練習をしたりした。

司会進行を6年生が行った。今年のメニューは、みそ汁と梅干しのおにぎりに決定した。
当日高学年の児童が、ご飯を炊き、煮干しで出汁を取って、さつまいもとじゃがいものみそ
汁を作った。おにぎりは親子で作り、ぎんなんとともに親子で味わった。みそ汁がおいしか
ったので、後日家でも作ったと話してくれた児童もいた。銀羊苑訪問で発表したなるこ踊り
も披露した。

④「冬をたのしもう」

・クリスマスリース作り

収穫したさつまいものつるが少なく、つるでのリースは断
念した。その代わりに、折り紙と紙皿で作る「クリスマスリース」にした。まず紙皿に穴を開け、土台を作る。そこに、自
分で切った柊の葉を貼る。後は、折り紙で作った雪だるまや
サンタクロースなどで飾った。曲線を切ることやきちんと折
ることが難しい児童もいたが、よい練習の機会になった。あ
まり工作が得意でない児童もかわいい作品を作り上げることが
できた。



【クリスマスリース】

(2) 実践の成果と課題

29年度は、在籍児童が増え交流の学級も増えたので、時間割の調整が困難になり、生活単元学習
の時間を確保することが難しかった。さらに自然が相手の取組なので、計画通りに進まないことが
多かった。

初めての試みとして梅ジュースと梅干しを作った。梅を洗ってへたをとることはできたが、後は
教師主導になってしまった。だが、今まで梅干しを食べたことがなかった児童が初めて食べ、「おい
しかった」と笑顔を見せていた。少しでも自分で作ったという意識をもてたのであれば、よかった
と思う。発表会の終わりには黒板に貼ってあるレシピをスマートフォンで写真に撮って帰った保護
者もあった。後日、児童からは「ママにもう一回作ってもらった」「おばあちゃんと一緒に作ったよ」
という声も聞くことができた。

自閉症・情緒障害学級に在籍する児童の多くが交流学級での総合学習に参加することができてい
るので、交流学級での参加が難しいと感じられる児童を中心に活動の計画を立て、より多くの時間
数を確保し、将来の生活につながる学習の機会を増やすことにした。